



令和3年度学校だより

甲府市立南西中学校

銀杏 (いちょう)

第27号

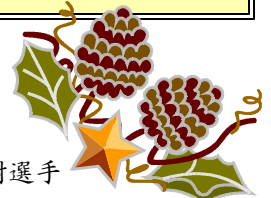
学校教育目標 「たくましい心と体を持ち 学び合える生徒の育成」

文責：校長 石井 敬

二学期を振り返って・・・

毎年恒例の今年の漢字。2021

年は『金』となりました。東京オリンピックでの日本人選手の活躍からすれば納得といったところですが、それ以外にも大谷選手の大リーグ MVP 満票受賞、松山英樹選手の日本人初のマスターズ制覇、藤井聡太棋士の最年少四冠達成など多くの「金」字塔が打ち立てられたことや、コロナによる飲食店への休業支援「金」・給付「金」、子育て世帯を対象とした臨時特別給付「金」など、お「金」にまつわる話題が多かったこともその理由のようです。子どもたちは、どんな漢字で二学期を、そして今年一年を振り返ったでしょうか・・・。



南西中の二学期は・・・と言うと、私には二つの漢字が浮かんできます。それは『活』と『繋』です。『活』を思い浮かべたのは、コロナが心配な状況でスタートした二学期でしたが、いちょう祭をはじめ新人戦、修学旅行、校外学習、生徒会役員選挙、清掃隊など数々の行事や活動において、子どもたちの生き生きとした姿や表情をたくさん見ることが出来たからです。特にいちょう祭では、コロナにめげず様々な工夫を凝らしてより良いものを創り上げようと力を合わせて頑張る子どもたちの姿が今でも目に焼き付いており、それは私たちににとっての「活」力にもなりました。

もう一つの漢字である『繋』は、今年度の生徒会スローガンでした。過日の臨時代議員会での総括ではこのスローガンを実現するための取組や活動がどうであったか真剣な議論が繰り広げられました。いくつか修正意見は出されたものの、大方は成果を認め、その上で発展的な継続を望む声も上がっていましたので、子どもたちが今年度実現させた「繋」の姿は、来年度の生徒会へ、さらにはその先の南西中へも「繋」がれていくものと確信しました。

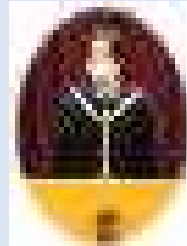


明日からは13日間の冬休みに入ります。年が改まるという“節目”を親子共々大切に、充実した休みとなりますようご協力をお願いいたします。子どもたちの生き生きとした笑顔と笑顔が繋がる南西中をさらに目指し、職員一同、来年も頑張っていきたいと思っております。

二学期の振り返りと



三学期に向けて!



1年3組 福島菜々実
まず、私たち1年生にとってこの二学期は多くの経験を積むことができた期間でした。一学期は中学生という実

感も無くダラダラと過ごしていました。

夏休みが終わり、いよいよ二学期。二学期は一学期に行われる予定だった「校外学習」などを実施するということもあり、私は期待を寄せていました。しかし、二学期の始まりは分散登校からでした。クラスの半分がいない状態の教室はいつもより静かで、時折さびしくも感じました。夏休みと合わせて約1ヶ月半という時間を乗り越えて久しぶりに会った友だちは大人っぽく見えました。それはここからが本番だということも実感させられました。

私たち1年生のスタートラインだった「校外学習」は学年の一員として一人一人が自分の役目を果たし、最後までやり遂げることの大切さを知りました。また、初めての「いちょう祭」はクラスで団結することだけでなく、2・3年生からの『繋承』について考える時間にもなりました。

遂に、冬休みが終わったら三学期。たったの3ヶ月間の中で私たちが2年生になるための最後の準備です。「校外学習」で学んだこと、「いちょう祭」で繋承されたことを無駄にせず、1年

生全員で頑張っていきます。



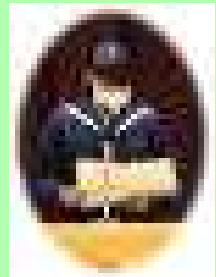
2年1組 渡邊 湊

二学期は長い学期でたくさんの行事がありました。中でも、いちよう祭と学年総会、生徒会役員選挙の仕事に学年全体で力を入れました。いちよう祭では前期学年生徒会と協力し、合同練習などを特に頑張りました。1・2年生の合同ビーボーでは天気の関係で急な予定変更があり大変でしたが、すばやく判断し効率よく行動できました。ソーランの合同練習では、一人一人が1年生に積極的に教えられていたと思います。南西中学校の文化の一つ「ソーラン」を継承していく時間をもつことができるとても良かったです。そして、後期学年生徒会が中心となり進めた学年生徒総会では今後につながる話し合いができました。話し合いでは、発言、反応やあいさつなどの反省が出たため、強化週間を設け改善できるようにしました。最後に生徒会役員選挙ではクラスの立候補者の手伝いを少しでもできるように、積極的に掲示物をつくったり朝のあいさつ活動に参加したりしました。これから南西中を引っ張っていく生徒会本部役員の皆さんの力になれるよう、私たち2年生が一人一人頑張っていきたいです。

三学期は、今まで中心となり支えてくれた3年生から様々なものを引きつぎ動いていく学期となります。いちよう祭など様々な行事をはじめ部活動、生活面で南西中学校を盛り上げてくれたのは3年生でした。そんな3年生に、私たち1・2年生が感謝の気持ちを伝えられるよう、三贈会を学年生徒会の一員として私は精一杯頑張りたいです。

3-2 田中 咲菜

長いようであっという間に過ぎた二学期が今日で終わり、明日から冬休みです。この学期で私たち3年生は、日常生活や様々な行事を通して沢山の成果と課題が出ました。成果としていちよう祭では、生徒会を中心に3年生が後輩を引っ張り、成功に繋げることができました。ボディーパーカッションは3年生にとって初めての取組でしたが、休み時間に練習し、各グループで1・2年生に丁寧に教える様子が見られました。そして、三大文化の繋承としてソーランや応援を盛り上げ、1・2年生に繋ぐことができたと思います。日常生活では、受験生という自覚が一学期より大きくなり自分の勉強に集中する人が増えました。その成果は、テストでの学年平均が上がっていることにつながってきていると思います。



沢山の成果が出た反面、課題も沢山上がりました。いちよう祭の練習で無駄口が多く、練習の妨げになってしまう場面が見られました。ブロック練習では3年生が雰囲気壊してしまう、歌声委員会で決めたことを3年生があまり協力してくれない、運動部門の練習でも全員が全力で取り組んでいないなど、一人一人のいちよう祭に向けた態度がバラバラだったと思います。日常生活でも、休み時間に節度を守らず騒ぐ姿が度々見られました。2分前着席をしたあとにロッカーに物を取りに行くという、2分前着席の本来の目的と逸脱している行動もありました。授業中では別の話に盛り上がってしまい、授業が進まないことがまだあります。

三学期は二学期と比べると、日数が短くなっています。しかし、三学期はこの緑学年で過ごす最後の学期です。残り少ない時間を有意義に過ごすために、二学期に出た反省を改善していけるように学年全体で取り組んでいかなければなりません。そして、3年間でできた学年の団結力を発揮していきたいです。受験は自分との闘いですが、受験の雰囲気をつくるのは学年です。これからの進路に向けて、悔いのないように精一杯やり切りたいです。また、中学校行事の最後の行事となる卒業式があります。卒業式を大成功させるために、全員で心をつ一つにして臨んでいきたいです。中学校生活の最後の三学期を、学年全員にとって良い思い出に残るように頑張っていきたいです。